

加古川中流圏域河川整備計画
西脇・多可ブロック 第四回懇話会
前回の懇談会・地域ブロック懇話会
の概要

平成24年11月8日

兵庫県北播磨県民局
加東土木事務所

懇談会・地域ブロック懇話会の位置づけ

懇談会

学識経験者・関係団体・
地場産業



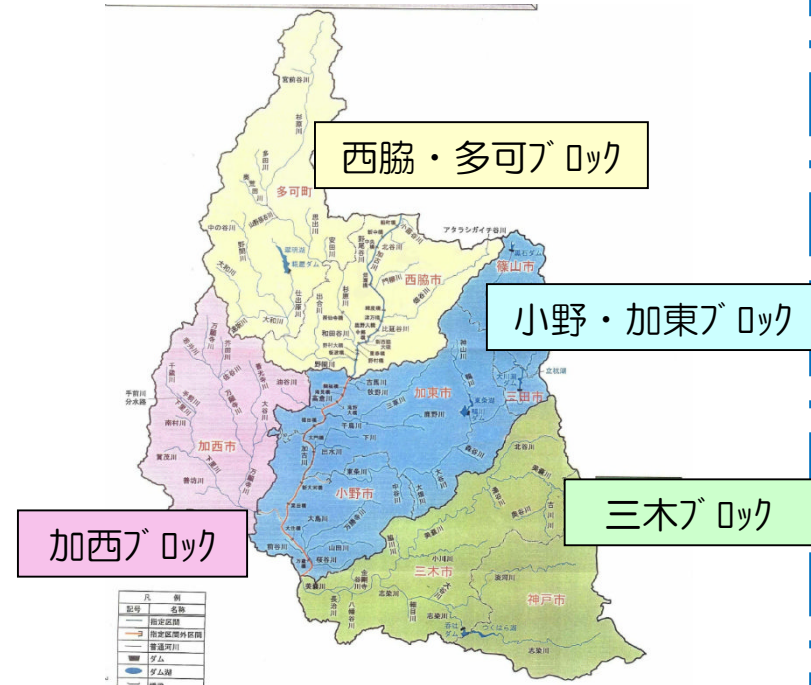
地域ブロック懇話会

学識経験者・関係団体・
地場産業・関係住民

学識経験者・関係者・関係住民の意見
を地域ブロック毎に聴取し、整備
計画の策定にあたり意見を述べる。

【懇談会設置目的】

加古川中流圏域の兵庫県管理河川について河川整備計画を策定するにあたり、必要な事項について協議・検討し、北播磨県民局長に対して意見を述べることを目的とする。



懇談会・地域ブロック懇話会 開催概要 1/2

地域ブロック懇話会

第一回 懇談会
(平成14年12月)

【主な議事】 計画趣旨、流域概要



第二回 懇談会
(平成15年10月)

【主な議事】 地域ブロック懇話会報告、過去の洪水、整備区間選定、改修工法



第三回 懇談会
(平成17年3月)

【主な議事】 平成16年10月洪水概要、目標流量の再設定



第一回 地域ブロック懇話会
(平成15年3月)

【主な議事】 計画趣旨、流域概要



第二回 地域ブロック懇話会
(平成15年7月)

【主な議事】 過去の洪水、整備区間選定、改修工法、現場見学

懇談会・地域ブロック懇話会 開催概要 2/2

懇談会

地域ブロック懇話会

第四回 懇談会
(平成23年12月)

【主な議事】 懇談会運営、これまでの経緯、
河川整備計画(原案)

第三回 地域ブロック懇話会
(平成24年3月)

【主な議事】 これまでの経緯、
河川整備計画(原案)

第五回 懇談会
(平成24年8月)

【主な議事】 河川整備計画の目標に関する
事項、河川の整備と実施に関
する事項

第四回 地域ブロック懇話会
(平成24年11月)

【主な議事】 河川整備計画の目標に関
する事項、河川の整備と
実施に関する事項

第六回 懇談会
(平成24年12月予定)

今回

西脇・多可ブロック 第三回懇話会

日時	平成24年3月15日（木） 13:30~16:00
場所	多可町中央公民館 大会議室
委員	12名出席
議事 要旨	<ul style="list-style-type: none">◆懇談会運営について◆これまでの経緯の説明◆平成16年10月台風23号災害対策の概要と効果◆平成23年9月台風12号・15号による被害◆加古川中流圏域河川整備計画(原案)について◆主な意見<ul style="list-style-type: none">・西脇の河川水位情報も出してほしい。羽山橋などにもう一点観測所を設けてほしい。・日野地区から提出した要望関係も十分入れて議論してほしい。・貴重種だけではなく、普通種の保存も大事である。

第五回 懇談会

日時	平成24年8月29日（水） 14：00～17：00
場所	兵庫県社総合庁舎 別館4階会議室
委員	8名出席
議事 要旨	<ul style="list-style-type: none">◆河川整備計画の目標に関する事項◆河川の整備と実施に関する事項◆主な意見<ul style="list-style-type: none">・ 既往最大流量が既定計画流量を上回っている区間はどの程度の割合になるのか教えてほしい。・ 河道だけではなく森林や田んぼの保水力を生かした対策を行っていく必要がある。・ 河川整備に当たっては、自然を生かし環境に配慮した方法を行っていく必要がある。・ 山間部の小さな河川における河川整備では、川幅の広い河川とは違った影響もあるため、慎重に工事をしてほしい。・ 河川工事の際は、濁水対策を十分に行ってもらいたい。

第三回地域ブロック懇話会での主な意見に対する回答（1/2）

ご意見・ご質問等	対応方針	河川整備計画（素案）での記述等
【河川の整備と実施に関する事項】		
<p>川の工事というのは下流からするのが大原則で、上流を先に改修すると下流に影響が出てくる。我々上流にいる者としてはそういうものも無視して、自分たちのところもしてほしいという思いもある。</p>	<p>県の事業投資可能額を踏まえて、既定計画での位置付け、他計画との整合、背後地の氾濫資産の大きさなどに基づいて総合的に判断し、流域全体の治水安全度が向上するよう、整備を実施していく区間を選定した。整備計画の目標については、下流の改修状況を見据え、下流区間とのバランスを考慮して設定した。</p>	<p>P16第2章 河川の整備と実施に関する事項</p>
<p>日野地区のまちづくりの中で親水公園的なものを要所要所に整備してほしいという要望がある。</p>	<p>河川整備の中で人と自然との触れ合いの場の創出に努める。</p>	<p>川で安全かつ、安心して遊び、川を知り、川で遊ぶことのできる河川整備を、関係機関・地域住民・学識経験者などの連携のもと、順次進めていくように努める。（P70L5）</p>
【河川整備を総合的に行うために必要な事項】		
<p>ブロックの第二回懇話会での主な意見の中で、河川だけでなく、森林と密接なタイアップをして、とあるが、どこに生かされているのか。</p>	<p>平成24年4月1日施行の総合治水条例に基づき、これまで進めてきた「河川下水道対策」に加え、森林が持っている雨水の浸透・滞留の確保などを含めた「流域対策」や「減災対策」を組み合わせた『総合治水』に取り組む。</p>	<p>雨水を一時的に貯留したり地下に浸透させる「流域対策」や、浸水してもその被害を軽減する「減災対策」を組み合わせた『総合治水』に取り組む。（P73L5）</p>
<p>今のような気候変動が非常に大きいときには、水を川の中に閉じ込めるだけでなく、昔あったように耕作地のほうへも水を吐き出して、川の流量を減らしていくという遊水池の考え方も必要ではないか。</p>	<p>加古川は上流域で急勾配になっており、流量の増減が非常に大きくなるというのが1つの特徴。森とのタイアップが非常に重要な箇所であるということであり、森のことを話題の中に、あるいは計画の中に盛り込んでいただくことが必要と思った。</p>	
<p>加古川は上流域で急勾配になっており、流量の増減が非常に大きくなるというのが1つの特徴。森とのタイアップが非常に重要な箇所であるということであり、森のことを話題の中に、あるいは計画の中に盛り込んでいただくことが必要と思った。</p>		
<p>去年の台風を見ていると非常に早く上流の水が日野地区へ流れてくるので、羽山橋などにもう1点観測所をお願いしたい。</p>	<p>水位情報は多い方がよい面もあるが、現時点で観測所新設はその必要性から困難である。河川整備計画においては、河川情報の提供に関して記述する。</p>	<p>P74～P76 2. 河川情報の提供に関する事項</p>

第三回地域ブロック懇話会での主な意見に対する回答（2/2）

ご意見・ご質問等	対応方針	河川整備計画（素案）での記述等
【河川整備を総合的に行うために必要な事項】		
10ページの課題。井堰などの建設による、というところでは、魚道の工法を考えてほしい。今までの魚道はかなり間違っただけがあると思っている。2つ目の圃場整備による水田と川のつながり、というところでは、圃場整備から出てくる排水溝が非常に高く川の水面と落差があるために魚が遡上できない。なだらかに川に流れ込むように考えないといけない。	連続性の確保が必要な箇所について魚道を計画する。	連続性の確保が必要な河川横断工作物について、取水井堰の改築及び、魚道の整備を計画する。(P69L5)
河畔林の整備をしていかないといけない。	治水上支障の無い範囲で樹木を保全する。	高水敷の掘削や樹木の伐採に際しては、治水上支障の無い範囲で、動植物の生息・生育環境に配慮する。(P68L16)
【その他】		
事前に資料へ目を通して来たほうが会議として充実するので、せめて1週間ぐらい前にいただきたい。	今回から事前送付する。	—
資料7ページの「河川整備の現状と課題」という図面が小さくて見えない。A4ぐらいにしてください。	資料を大きく印刷するのと合わせて、今後整備を実施していく区間を示す図については、別途印刷したものを参考として添付する。	—
NHKのデジタル放送で河川水位情報が出るが、多可町の中区と加古川本流の高松、上流域の水位のみなので、西脇（小坂町）も出してほしい。	（現在ではNHKのデータ放送で杉原川の西脇地点の水位が表示されている）	—
下水道工事も完成するなど加古川の水質も変わってきており、過去30年ほどの水質試験結果があれば、魚類が減った原因も大体つかめると思う。1回資料を出していただきたい。	S59(1984)～H23(2011)まで28年分のBOD（生物化学的酸素要求量）データをパワーポイント資料にて提示。	—

加古川板波橋におけるBOD（生物化学的酸素要求量）の 経年変化（S59(1984)～H23(2011)）

